

崇実大学国民生活体育研究所との研究協力の展望

佐藤 雅幸 (専修大学教授/社会体育研究所長)

合同研修会には、社会体育研究所からは14名、崇実大学からは10名が参加した。会の冒頭では相互に大学および研究活動の紹介が行われ、その後崇実大学国民生活体育研究所チョン教授による研究発表がなされた。それぞれの発表の後には、通訳を挟みながらではあったものの、活発な情報交換が行われ盛会のうちに終了することができた。これもシン学部長、チョン教授をはじめ崇実大学の皆様の関係各位の多大なるご協力に深く感謝の意を表したい。

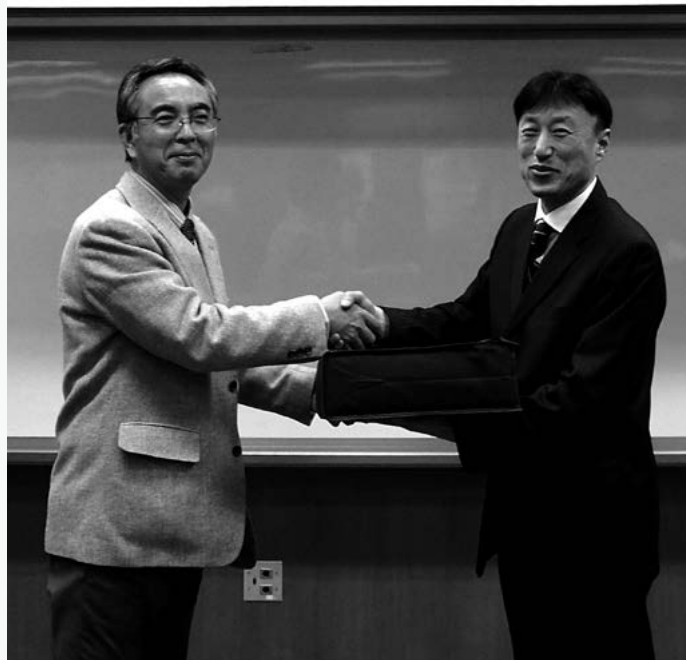
崇実大学は現在、学部課程に9単科大学、29学科、10学部、一般大学院に40学科、特殊大学院に6大学院41学科(専攻)を開設している。全体教員数は専任教員454人を含めて1,053人に及び、在籍学生数は学部に20,258人、一般大学院に1,759人、特殊大学院に1,248人であり、2007年には開校110周年を迎えた韓国で最も古い私立大学の一つである。また、サッカー強豪校として知られ、多くのKリーグ選手、Jリーガーを輩出している。このような大学の規模や国民生活体育研究所が設置されている環境、体育系大学でなくともスポーツの強豪大学であるという崇実大学の研究・教育環境は、専修大学および社会体育研究所と極めて近いように感じられた。

また、国民生活体育研究所の研究・活動方針においては、トップアスリートの医科学的サポート、健康科学に関する研究、スポーツにおけるITの利用に関する研究開発など社会体育研究所と共通する部分が多く、研修会においては情報交換のみならず、新たなアイデアや研究の可能性などのアイデアの提示が行われた。奇しくも平成25年度は社会体育研究所がスポーツ研究所に生

まれ変わる年度である。その意味でも、本研修会での成果は、スポーツ研究所の未来像の構築に一助を与えてくれるものであったと言えるだろう。

研修会の最後には、この研修会を一つのきっかけとして、日韓相互に解決すべき課題や研究活動について情報交換を継続して実施し、今後の共同研究や研究協力に向けて環境整備を進めていくことを確認した。これからの相互の交流に大いに期待したい。

實大 崇実大学 国民生活体育研究所 / 専修
일대 학교 국민생활체육연구소 / 전수
2013年 1月 21日 15:30 - 17:30 場所: Entrep
2013년 1월 21일 15:30 - 17:30 장소: 벤처중



佐藤雅幸(左)とシン学部長(右)